
エレベーター

会津遊一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エレベーター

【コード】

N6391H

【作者名】

会津遊一

【あらすじ】

ある廃ビルに、エレベーターがあった。

少年は学校からの帰りに、寄り道をしていた。

茹だるような暑さだったので、家まで体が持たないと思ったのだ。

コンビニでかき氷を買い、そして近所の公園でガブリと一気に頬張った。

すると、あつという間に口の中で冷たい氷が溶けてしまう。

火照った体から熱を奪ってくれるのが妙に気持ちよかった。

少年はブランコを漕ぎつつ、一人で笑っていた。

かき氷が食べ終わった頃。

昼と夜の隙間が地平線の向こうから顔を出し始めていた。

肅々と鳴いていた虫達も、けたたましいぐらいの合唱になっている。もうすぐ日が暮れる。

少年はゴミを捨て、家に向かうことにした。

背後からヤブ蚊が追ってきているような気もしたのか、少し早足になっていた。

朽ち果てた建物を見つけたのは、その途中であった。

ビルは伸びていく影から隠れるように、ひっそりと佇んでいた。

灰色の壁にはツタが巻き付き、至る所に落ち葉や木屑が散乱している。

窓には板木が打ち付けられていて、浮浪者が侵入できないようになっている。

しかし、この様な廃ビルは珍しくはないだろう。

夕日に赤く染まる風景の一つとしか思えなかった少年も、そのまま通り過ぎようとした。

その時、ポーンという音がしたのだ。

電柱の上でカラスがギャアギャアと鳴いているが、少年には電子音が聞こえたのだった。

音は、廃ビルの中からした。

しかし、まさかこんな所に誰がいるというのだろうか。

好奇心が沸いた少年は、板木の隙間からビルの中を覗いた。すると、使われているエレベーターが見えたのだ。

扉は開いている。

蛍光灯の明かりだけが、薄暗い廃ビルの中でボオッと光っている。

本当に、誰か住んでいるのかもしれない。

少年は食い入るように、エレベーターを見続けた。

だが、最後まで人影がやってくる事はなかった。

それどころか、暫く経過してもエレベーターの扉が閉じられなかった。

ずっと開いたまま。

まるで、誰かが乗るのをジッと待っているかのように……。

薄気味悪く感じた少年は、駆け足で帰宅したのであった。

次の日。

あの後が気になった少年は、再び廃ビルを訪れていた。

カビ臭い板木の隙間から中を覗くと、扉は閉まっていた。

やっぱり誰かが使ってるのか。

そう胸をなで下ろした時、エレベーターが開いたのである。

ポーンという地味な音が鳴り響く。

そしてまた、扉は閉まらなくなったのだった。

もしかして、本当に自分が乗るのを待っているのだろうか。

少年はゴクリと唾を飲み干した。

下腹部がキュッと絞め上がり、もう口の中がカラッカラになってい

た。

怖くなった少年が逃げだそうと振り返った瞬間、目の前に父親が立っていたのだ。

突然のことに、少年はギョツとした。

驚きのあまり背骨の真ん中に冷たいモノが走った。

少年が、何故こんな所にいるのかと尋ねようと口を動かす。

だが、その前に父親はエレベーターの方を指さしたのだ。

それは、無言のまま乗れ、と言ってるかのようであった。

父に表情は無い。

怖く感じた少年は、その場から逃げ出した。

帰宅後。

恐る恐る父に理由を尋ねたが、そんな所には行っていないと言っ。

あれは何なんだったろうか。

エレベーターは何処へ、運ぼうとしたのだろうか。

(後書き)

ご意見、ご感想などありましたら、お気軽に。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6391h/>

エレベーター

2010年12月11日02時47分発行